

筑波大学との連携協定 平成29年2月23日

筑波大学と土浦一高との高大連携に関する協定書調印式

2月23日(木)、本校と筑波大学は連携協定を結びました。この連携協定は、双方の研究教育に係る資源・人材等を活用し、グローバル・リーダーの育成及び一人一人の能力を伸ばすための教育の推進を図るとともに、高大接続の在り方について研究開発を行うことを目的としたものです。県立高校が大学とこのような包括的な連携協定を結ぶことは県内では稀な試みであり、また大学側にとっても単独の高校との連携協定締結は初となります。



筑波大学 永田 恭介学長
 「本学は、前身を東京教育大学とするので、高校教育に関心をもつ教員は多い。その教員にとっても、この協定を機に高校教育に触れ理解を深められることは利点となるだろう。世界レベルで活躍し、社会を牽引できる人材をともに育てるため、両校がもっているそれぞれのレベルの教育目標の違いを乗り越えて、連携のシステムを構築し、成果を上げていきたい。」



【筑波大学】
 永田 恭介 学長
 伊藤 眞 副学長
 渡邊 俊 教育社会連携推進室長
 佐藤 稔晃 教育推進部長
【茨城県】
 横田 和巳 高校教育課長
 塚田 歩 高校教育課指導主事

教育庁学校教育課 横田和巳課長
 「筑波大学には、本県の教育に様々な面で今までも協力いただいていた。今後はSGH(スーパーグローバルハイスクール)の取り組みに基づく本連携協定を通して、グローバルリーダーの育成に、ともに取り組んでいきたい。」

土浦一高 横島義昭校長
 「今までの連携・協力を継続いただくことを確認するとともに、さらに深化・発展することを願い、この協定を締結する。この連携協定締結を機に、一層グローバル人材の育成を推進するとともに、他の高校のモデルケースになることも期待している。」